



No.212

令和5年11月1日発行

滑川市議会

☎(076) 475-2120

E-mail:gikai@city.namerikawa.lg.jp

(タイトル：滑川高校3年生 桃井優希さんの作品)



7月に子どもサミットの事前研修として、議場見学が行われました。
今年度の子どもサミットは12月1日に行われます。

令和5年9月定例会一覧

開会	9月5日	会期24日間	閉会	9月28日
○本会議（主な内容）				
5日	会期の決定			
	提案理由説明			
	補足説明			
12日	代表質問・一般質問			
13日	一般質問			
	議案の委員会付託・陳情の委員会付託			
28日	委員長報告・質疑・討論・採決			
	追加提案			
	提案理由説明・採決			
	議員提出議案			
	提案理由説明・質疑・討論・採決			
	閉会中の継続審査			
○委員会				
13・28日	議会運営委員会			
13・15日	総務文教消防委員会			
15日	産業厚生建設委員会			
19・20・21・26日	決算特別委員会			
○議案の審議結果				
予算（原案可決）	3件			
条例（原案可決）	2件			
その他（原案認定）	7件			
その他（原案可決）	3件			
人事（原案同意）	2件			
議員提出（原案可決）	1件			
陳情（採択）	1件			
合計	19件			

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は12月です。



なめりかわ市議会だより

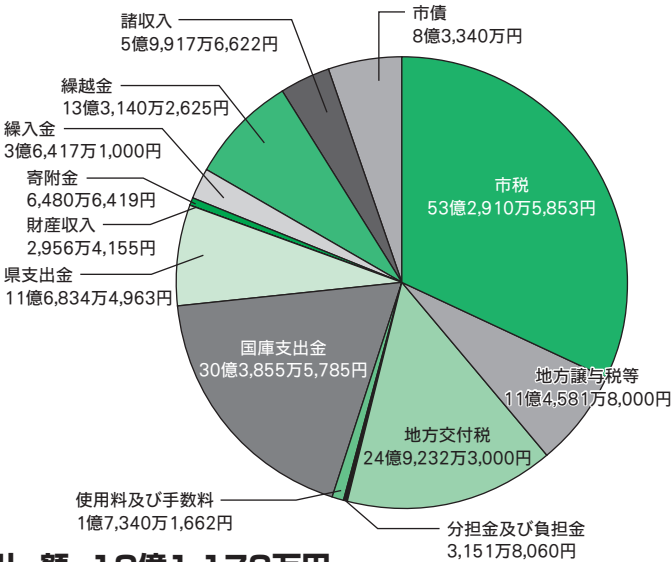
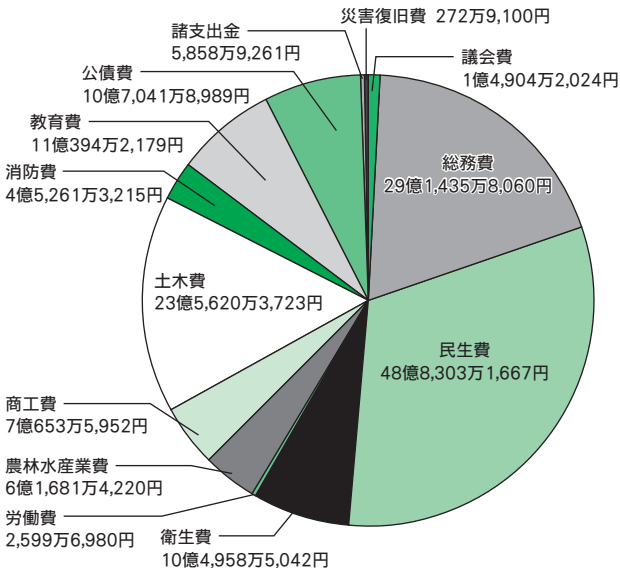
令和4年度の滑川市のお金の使われ方は？

～市の決算について審査を行いました～

一般会計

歳出総額 153億8,986万円

歳入総額 166億159万円



歳入 歳出差引額 12億1,173万円
翌年度へ繰り越すべき財源 7,732万円
実質収支額 11億3,441万円

決算特別委員会

令和5年9月定例会において、決算特別委員会が設置され、令和4年度一般会計、特別会計及び企業会計の決算審査が行われました。
決算特別委員会の委員は次のとおりです。

◎決算特別委員会委員

委員長 岩城晶巳

副委員長 水橋真治

委員 吉森真人

高川正樹

大浦豊貴

竹原正人

開田晃江

安達真隆

谷崎潤一

青山幸生

古沢利之

中川 勲

原則、全議員で決算特別委員会を組織しています。（ただし、当該年度の議長及び議会選出の監査委員は委員になりません。）

企業会計

水道事業	収入済額	支出済額
収益的収支	4億7,951万円	3億6,223万円
資本的収支	3,799万円	2億5,084万円
下水道事業	収入済額	支出済額
収益的収支	14億2,787万円	12億2,371万円
資本的収支	9億1,997万円	14億9,868万円

特別会計

会計名	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	28億 687万円	27億9,356万円
後期高齢者医療事業	9億2,545万円	9億1,217万円
介護保険事業 保険事業	29億9,476万円	29億3,929万円
サービス事業	1,466万円	1,466万円
工業団地造成事業	57万円	18万円

令和4年度の滑川市の予算の使われ方、実施した事業の成果等について、特に、予算額に対し決算額が低いもの（不用額が多いもの）や、新規事業、前年度に比べて増減の大きいものを中心に、必要な場合は資料の提出も求めながら審査を行いました。

また、委員会最終日には、みのわ温泉、青雲閣の現地視察も行いました。

決算については、議決予算に基づいて適正に執行され、計画された事業は概ね所期の成果を挙げているとともに、行政効果も達成されたものと認め、決算特別委員会に付託された9議案については、賛成全員により認定または可決すべきものと決しました。

審査終了後、今後改善を求める事項として、次のとおり、歳入2項目、歳出9項目を市に提出しました。

「歳入」

1 新型コロナウイルス感染症の影響も収束しつつあり、市税の増収、施設利用者の回復が図られるなか、あらゆる歳入の確実な確保に引き続き努められたい。

2 市税（住民税・固定資産税・軽自動車税等）、国民健康保険税、

介護保険料、上下水道料、市営住宅・定住促進住宅家賃等については、不納欠損とならぬよう、滞納額が小さなうちから早期徴収対応に努められたい。特に、悪質な案件については、負担の公平性の観点から、厳格な対応を確実に実施されたい。

「歳出」

1 公共施設の維持管理に際して、公共施設等総合管理計画等に基づき、必要な調査点検を確実に実施して管理を行い、施設の長寿命化に努め、施設総量の適正化に努められたい。

2 継続事業も含む全ての事業について徹底した事業検証や見直しを行うとともに、事業効果については、課を横断する視点を持って検証されたい。

3 予算編成に際しては、社会・経済状況の変化による資材・人件費等の変動に留意し、公共工事の発注や施設等の適正な維持管理に影響を与えることのないよう適切な積算に努められたい。

4 市民サービスの向上や窓口業務の負担軽減につながるよう、更なるDX推進に努められたい。

5 住民の命と健康を守るため、各種検診の受診率が向上するよう引き続き尽力されたい。

6 農林水産業等の第一次産業の活性化のため、なり手不足の解消とブランド化に一層努められたい。

7 危険老朽空き家が増えないよう、引き続き対策にしっかりと努められたい。また、管理状態の悪い空き家等については、適切な指導に努められたい。

8 小中学校に整備されたタブレットや図書等を効率的・効果的に活用し、子どもたちの生きる力を育むため、一層の学習環境の向上と教員の指導能力向上に努められたい。

9 消防団員の充足について、一層のPRを行うなど、団員の確保に努め、自治会・企業・団体等にも協力を呼びかけるとともに各分団の配置、並びに各地区の消防団員の定数の見直しを検討されたい。



青雲閣現地視察



みのわ温泉現地視察

9月定例会

本会議

◆令和5年9月定例会

令和5年度一般会計補正予算(第4号)

(1億5,755万3千円)

ほか、市長提出議案17議案を可決または同意

令和4年度一般会計、特別会計及び企業会計決算を認定

◇9月5日に本会議を開き、まず会期を決めた後に、予算及び条例等の市長提出議案15件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長などから議案の補足説明がありました。

その後、本会議を再開し、決算特別委員会の設置を決めるとともに、委員の選任を行いました。

◇12日、13日は代表質問及び一般質問が行われ、11名の議員が市政一般に対する質問及び提出諸案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に、市長提出議案を所管の各委員会へ付託しました。

◇最終日の28日には本会議を開き、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長及び決算特別委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

市長提出議案15件については一括採決の結果、各常任委員長及び決算特別委員長の報告のとおり賛成全員で可決または認定されました。

次に陳情第2号について採決され、総務文教消防委員長の報告のと

おり賛成全員で採択となりました。続いて、市長から人事案件として、滑川市固定資産評価審査委員会の委員に石山敏雄氏(赤浜)の、滑川市教育委員会の委員に平田均氏(高柳)の選任が追加提案され、それぞれ同意となりました。

その後、議員提出議案「女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書」の提案理由説明の後、採決を行い、賛成全員で可決しました。最後に閉会中の継続審査を議決して、9月定例会を閉会としました。

常任委員会での審査 (主な質疑等)

各常任委員会等への付託
案件はP14をご覧ください。

総務文教消防委員会

「陳情第2号」については、13日に委員会を開催し、陳情者の趣旨説明を行うことを決定しました。15日の審査においては、陳情者から趣旨の説明を聞き、当局に対し質疑を行った後、慎重審査の結果、賛成全員で採択すべきものと決定しました。

付託された2議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

委員会での主な質疑

☆令和5年度滑川市一般会計補正予算(第4号)について

問 子ども図書館管理運営費の児童用図書購入の詳細は。

答 購入内容は、絵本35冊、児童書50冊の計85冊を購入することとしている。

問 福祉のまちづくり事業基金積立金の寄附金は、寄附者から使用用途について要望はあったのか。

答 児童福祉への活用をと伺っている。来年度当初予算には、多くの児童が活用できるような事業に充当できるよう検討していきたい。

問 私立保育所等運営事業費の保育支援者配置補助の詳細は。

答 市内の私立保育園12園で保育支援者の配置にかかる経費に対し、10月から3月まで月額10万円を上限に補助するものである。

(水野市長) 10月からの半年間で各園の状況を把握しながら事業の継続実施について検討していきたい。

産業厚生建設委員会

付託された 5 議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

委員会での主な質疑

☆令和 5 年度滑川市一般会計補正予算（第 4 号）について

現在の子ども課所管の既存の子育て支援アプリから新たなアプリへの切り替えについて、周知はしっかりとできているのか。

答 4 月 1 日から円滑に移行できるよう、情報発信に努め、滞りなくサービスを提供できるようにしたい。

子どもサミットの事前研修として議場見学が行われました（表紙参照）

7 月 25 日に市内の小中学生が子どもサミットの事前研修として、議場見学が行われました。

尾崎照雄議長から議会について説明があり、その後、ひとりひとり登壇して自己紹介をしました。

今年度の子どもサミットは 12 月 1 日に行われる予定です。

日誌

5 年 8 月

7 日 富山県市議会議長会

臨時総会、県知事との懇談会

（富山市）

10 日 定例議員協議会

富山県東部消防組合議会

議員協議会、全員協議会、

本会議（魚津市）

18 日 北朝鮮に拉致された日本人

を早期に救出する富山県地方議員連盟理事会・総会・

講演会（富山市）

富山県日韓友好議員連盟

理事会・総会・講演会

（富山市）

（富山市）

29 日 議会運営委員会

31 日 定例議員協議会

総務文教消防委員会協議会

産業厚生建設委員会協議会

（富山市）

（富山市）

（富山市）

（富山市）

（富山市）

（富山市）

（富山市）

（富山市）

10 月

3 ～ 4 日

富山地区広域圏事務組合 行政視察

（石川県小松市・

大阪府東大阪市）

5 ～ 6 日

富山県東部消防組合議会 行政視察（新潟県燕市）

10 日

議会運営委員会協議会

定例議員協議会

議会報編集委員会

産業厚生建設委員会協議会

11 日

岐阜県中津川市より行政視察

17 日

議会報編集委員会

富山地区広域圏事務組合

19 日

北信越市議会議長会

評議員会（富山市）

27 日

茨城県結城市より行政視察

滑川中新川地区広域情報

事務組合議会定例会

富山県市議会議長会

正副議長研修会（魚津市）

代表質問

9 月定例会では 11 名の議員が質問を行い、37 項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、12 月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定です）
ご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、ご利用いただけます。
※質問者の最後のその他の質問は、掲載外の質問事項です。



右記 QR コードから YouTube 滑川市議会チャンネルにアクセスできます。

機材の不具合により、次ページからの各議員の質問の個別 QR コードは記載できませんでした。誠に申し訳ありません。

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



- 1 市長提案理由説明の内容について
- 2 熱中症対策について
- 3 ふるさと龍宮まつり海上花火大会について
- 4 なめりかわ二十歳の式典について

(会派＝志真会) 竹原 正 人 議員

代表質問



- 1 観光施策について
- 2 市職員・教員の働き方改革について
- 3 農業について

(会派＝会派自民) 中川 勲 議員

Q タラソピア、青雲閣の両施設の年度末の機能廃止を踏まえ、現在サウディング型市場調査の参加者を募集しているが、十分な議論をして方向性を決めるため、年度末の結論にこだわらず、時間をかける必要があるのではないか。

A 水野市長 サウディング型市場調査の募集を現在行っている最中である。タラソピアについては、指定管理者であるWAVE滑川と協議しながら今後の活用方法について決定していく。また、青雲閣についても、東福寺野自然公園との関連も考慮しながら決定する。活用方法が定まらないままの施設を長時間放置しておくことは望ましくないと考えているため、両施設とも今年度中に方向性を定める。

Q 来年以降も異常気象は続くと考えられることから、熱中症対策について一定のルールをつくり、様々な行事の開催可否の指針を統一すべきと考えるが、見解は。

A 石川健康福祉部長 国において、熱中症特別警戒アラートの発表基準が示されたことなどもあり、国、県による指針等の動向も確認しながら、適切な対応に努めたい。

Q 6月にふるさと納税の返礼品として花火大会の観覧席が追加された。実際の結果はどうだったのか。

A 柿沢副市長 20席分を用意し、申し込み受付を行った。6月20日時点では申し込みがない状況であったが、最終的に7月16日の花火大会では、15席分ご利用頂いた。ふるさと納税の金額は2万円であったが、アンケートを実施した結果、今後も花火大会を観覧席で見たいのでふるさと納税に寄附したいなどの回答があった。さらに内容をブラッシュアップしたい。

Q 二十歳の式典について、例年1月の第2日曜日に式典を行ってきた。日程変更し、参加しやすい環境を整えることも必要と考えるが、

A 上田教育長 参加しやすい環境を整えることは重要であると考えている。成人対象者が18歳に変更されたことにより、二十歳の式典は成人の日の近くでなくてもよいことや、1月は積雪の影響を受けやすいことなどを考慮して、開催時期の見直しを検討している。県内自治体の開催状況等も参考にしながらよりよい式典となるよう努めたい。

Q 新川地域の自治体、各種団体、企業でつくる「富山湾・黒部峡谷・越中にかわ観光協議会」から滑川市は2015年に脱退し、今年再加入したのはなぜか。

A 水野市長 令和6年の北陸新幹線敦賀開業や黒部宇奈月キャニオンルートの開通、今後のインバウンド対策、広域的なプロモーションによる周遊観光の強化を図るためには、滑川市単独よりも、新川地域3市2町での対応、連携が効果的であると考え、再加入した。

Q 富山湾岸クルージングで入善町の海上に完成した風力発電所風景の見学コースなど拡大できないか。

A 黒川産業民生部長 今年度滑川くろべ生地航路が運輸局に受理され、くるべ生地浜海上花火大会を鑑賞するイベントクルージングを実施した。入善町の洋上風力発電施設を海上から見学することについては、生地航路を活用してできないか、関係機関と協議したい。

Q 市職員や教員の労働時間の短縮は進んでいるのか。

A 柿沢副市長 今年度から市職員の勤務時間をシステムで管理し、時間外勤務の累計時間が上限に達した場合、警告が表示されるなど

の機能を活用して、長時間勤務の是正に取り組んでいる。

A 上田教育長 教員の労働時間は、平成30年度にタイムカードを導入し、毎日の勤務時間を各自が自覚でき、管理職も把握できるようにした。各学校と協力し、業務量の適切な管理に努め、働き方改革を進める。

Q 部活動の地域移行は進んでいるのか。

A 上田教育委員会事務局長 学校と地域の連携を深めながら、地域の指導者の協力を得ながら、まずは休日の部活動の地域移行に取り組み、教員の働き方改革を進めている。**Q** 農業従事者の高齢化が深刻化している。最新型の農業機械の導入などにより、若い人にも魅力あるスマート農業への取組に支援すべきと思うが。

A 黒川産業民生部長 国の経営発展支援事業では、ドローンのほか、直線キープ機能付き田植え機や自走式草刈機などのスマート農業用機械の導入に対して助成している。そのほか、市の単独事業として豊かな農村づくり推進事業においても助成している。

一般質問



- 1 みのお温泉について
- 2 滑川市の水道事業について
- 3 ゼロカーボンシティ宣言について

安達 真 隆 議員

Q 6月定例会でも各議員から質問があったが、温泉が供給されなくなっている現在の進捗を問う。

A 上田教育委員会事務局長 みのお温泉については、昨年12月から温泉が供給できなくなり、現在は沸かし湯で営業を続けている。4月に源泉井戸の調査が行われ、供給停止の原因は、温泉をくみ上げる管の周りを覆う配管、ケーシングが腐食したことにより機能が正常に働かなくなったことである。現在、早月川温泉開発株式会社と温泉掘削会社が協議し、温泉機能が早期に復旧できるように作業を始めたと聞いている。

Q 8月末に水道検針データを消去したと報道されている。月の使用料によって水道料は変わっていくが市民に説明周知されたか聞く。

A 岩城建設部長 インボイス制度の導入に伴うシステム改修で、誤って消去した一部の8月検針データについては、直近3か月の使用水量の平均を測定値にして水道料金を徴収した。水道料金は使用料が増えるに従って単価が高くなる設定になっていることから、翌月分と合わせて料金が過大徴収となら

ないよう調整することになっている。
Q 猛暑で水道は大丈夫か。今年の冬のように断水の恐れはないか。
A 石坂上下水道課長 今年は猛暑の影響で気温も高く、降水量も極端に少ないことから早月川の表流水がほとんど見られない。本市の水道水は地下水をくみ上げており、地下水の水位の状況を適宜確認し、くみ上げの支障となる水位低下がないことから、今のところ断水とはならないものと考えている。

Q 井戸水の持ち主と協定を結ぶなどの協議は進んでいるか問う。

A 石坂上下水道課長 断水時の際に市民に水を供給する有効な手段の一つと考える。万が一のため対策は必要であり現在検討している。

Q 市庁舎内にEV充電スタンドの設置をしようか。
A 高森企画政策課長 本市のカーボンニュートラル達成に対する市長の所信を表明するため、本定例会においてゼロカーボンシティ宣言を行った。国の動向等も踏まえ、市内での充電設備についても前向きに検討を進めることとし、市役所庁舎敷地も候補として考えている。

Q 小中学校の統合に向けての協議をこれからする予定はあるのか。
A 椎名教育総務課長 統合に向けて現在協議等を行っている。しかし全国的な少子化が進んでおり、本市においても児童・生徒数の推移とそれに伴う学級数、教員の配置数を考慮し、学校統合の有無などについて地域と意見交換しながら検討することも今後必要になってくると考えている。

Q 移住・定住の施策をどのように進めていくのか。
A 高森企画政策課長 移住希望者には、移住フェアなどの現地イベントの参加や、県が定期的に開催する移住オンラインセミナーへの参加を通し、本市の魅力を発信している。昨年度制作したPR動画やSNS等を活用することで、本市への移住者を増やし、人口減少対策やにぎわいの創出につなげたいと考えている。

Q 本市のホームページをより使いやすくするためのリニューアルについて問う。
A 松山DX推進課長 新たなホームページは、利用者目線が必要とする情報を探しやすく、シンプル

かつ見やすいデザインの再構築を行うことを目的として、今年度中に更新を予定している。
Q 行政と医療と介護の事業者間の連携を図るDXの推進について問う。
A 小川医療保健課長 事業者間の連携ツールとして、医師、看護師、薬剤師、介護支援専門員、介護職等多職種連携の円滑化のため、インターネット回線を活用したバイタルリンクを導入している。複数事業者間で同時にデータ共有を行うことができ、文章だけでなくバイタルサインや処方一覧、画像を共有できることから、医療、介護の場で利用しやすいと好評である。

Q 高齢者の働きの場の創出について問う。
A 梅原福祉課主幹 高齢者のライフスタイルに合わせた業務や社会参加の機会を提供している本市シルバー人材センターへ毎年補助を行い、要請に応じて会員募集チラシの全戸配布を行うなど活動を支援している。高齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会に貢献できる組織として今後も支援していく。

一般質問



- 1 学校教育について
- 2 移住・定住の促進について
- 3 「滑川市版スマートシティ」の実現に向けて
- 4 生涯現役社会の実現へ向けて

水橋 真 治 議員

一般質問



- 1 滑川市の防災対策について
- 2 小中学校の施設について
- 3 LGBTQについて

吉森 真人 議員

Q 災害時、国はペット同行避難を原則としているが、ペットも対象とした訓練を行うべきではないか。

A 高倉総務課長 ペットの災害対策は、近年その重要性が高まっていることは認識している。次年度以降の防災訓練における訓練項目については、訓練会場や想定する災害を踏まえた上でペットも対象とした訓練も含め、自治会連合会と訓練参加者の意見も伺いながら決定することとしている。

Q 災害時のペット同行避難に関して飼主にあまり知られていない。周知徹底はどうするのか。

A 高倉総務課長 次年度開催する総合防災訓練の中で、ペットの避難も含めた訓練をすることになれば、ホームページや市広報紙などを活用して積極的に周知徹底していきたい。

Q 学校の太陽光発電装置が稼働していない、発電量が少ないと聞くと管理及び点検はしているのか。

A 椎名教育総務課長 現在、市内小中学校6校に太陽光発電装置を設置しているが、そのうち2校については、故障により稼働していない。専門業者による定期的な点検はしていないが、各学校の職員等が正常に稼働しているかを確認

し、不具合等があれば教育総務課へ報告してもらっている。

Q 今後も猛暑は続くと思われる。断熱性や金額面からも厳しいことは理解しているが、子どもたちの命のためにも避難所にもなり得る

体育館に空調を整備してはどうか。

A 椎名教育総務課長 体育館への空調設備の設置については、これまでも検討してきたところであるが、断熱性確保工事も必要となり多額の費用が想定されることから実施出来ていない。現在は、大型扇風機などで対策を進めている。

今後、補助金等の活用も含め調査研究したいと考えている。

Q LGBTQ法が令和5年6月23日に施行されたが、学校教育においてどのように進めるのか。

A 椎名教育総務課長 LGBTQと言われる性の多様性については、小学校低学年の時期から、保健体育や道徳の授業等で特別なことではないと教え、体や心の成長に合わせた指導や支援を行っている。

性に関するものに限らず、児童・生徒がお互いの個性や特徴を理解し合い、認め合うことが出来るよう人権を尊重する心を育てる教育が大切だと考える。組織的な支援を今後も進めていきたい。

一般質問



- 1 東福寺野自然公園について
- 2 「ラーケーションの日」制度導入について
- 3 HPVワクチン接種率向上の取組について

原 明 議員

Q 令和6年3月31日をもって廃止となる青雲閣は、東福寺野自然公園内の施設予約や受付等の業務が行われているが、令和6年度はどのようなになるのか。

A 北島都市計画課長 公園内の施設予約、受付等の業務は、文化・スポーツ振興財団が青雲閣の事務室で行ってきた。今後の施設予約や受付等の業務が現在と同様に、青雲閣の事務室内において引き続き実施されることを利用者に周知してまいりたい。

Q 愛知県では、未来につながる家庭での主体的な学び、体験的な学びを応援するため、ラーケーションの日を2学期からスタートさせた。制度導入に向け検討していた。制度導入に向けた見解を問う。

A 椎名教育総務課長 休日に休むことのできない家族が、平日に休みを取って家族での時間を過ごすことができるように、必要に応じて時間を作っていたことは大切なことだと思っている。しかしこの制度を実施した場合、ラーケーションの日の取得することが出来る家庭との格差が生じる可能性がある。あるなどの課題が考えられ、先行

する自治体の成果と課題を含め、今後研究を進めていきたい。

Q 子宮頸がん予防のためのHPVワクチンの接種率は、

A 川口市民健康センター所長 本市における接種率は、1回目、2回目、3回目の接種率の平均として、積極的な勧奨が再開される前の令和2年度が約0.1%、令和3年度が約26・3%、積極的な勧奨が再開された後、令和4年度は約18・4%となっている。

Q ワクチンの接種率アップにどう取り組んでいくのか。

A 川口市民健康センター所長 積極的な勧奨の再開後、接種率は上昇傾向にあることから、この傾向を維持できるように、市ホームページ、SNS等を利用した情報提供に取り組んでいきたい。

Q ワクチン接種を逃した方を対象にキャッチアップ接種が進められているが、どのような方法を取っているのか。

A 石川健康福祉部長 対象者に対し、個別に通知をしている。県外在住の大学生やその保護者には、市のホームページや広報等を活用し、情報の提供に努めていきたい。

一般質問



開田 晃 江 議員

- 1 学校給食費の公会計化について
- 2 滑川市のDX推進について
- 3 ゼロカーボンシティ宣言について

Q 文部科学省は、令和元年に学校給食費の公会計化等の推進について通達している。教職員の働き方改革が急務となっている中、学校給食費の公会計化に早急に取り組むべきではないか。

A 椎名教育総務課長 公会計化を導入した場合は、担当業務を担う人員を配置する必要があると考えており、県や他市町村と連携をとり、情報を確認しながら導入の有無について慎重に検討したい。

Q 料金徴収の負担を軽減し、正確性も高める水道スマートメーターの導入を検討すべきではないか。

A 石坂上下水道課長 水道検針データの誤消去などのミスにおいては、一定の防止策となるが、現在よりも高額となることから、今のところ検討する予定はない。

Q 児童・生徒の身体測定システムを導入し、各学校で成長記録をUSB管理してはどうか。

A 椎名教育総務課長 このシステムについてカタログ等も少し確認した。全学校ではなく、持ち回つてという方法もある。それも含めて検討していく。

T **Q** 7月の常任委員会の視察でI・O（インターネット・オブ・シン

クス）の説明を受けた。保育園や認定こども園に通う0歳児や1歳児の安全を確保するため、着衣型IoTセンサーによる見守りを導入してはどうか。

A 牧田子ども課長 IoTセンサーは、体調や体温の変化を読み取ることに有効であるとされており、費用対効果も含め調査研究したい。
Q 市で1台か2台準備して、小さい赤ちゃんが入園したら貸し出すことは考えられないか。

A 牧田子ども課長 センサーをつけることは、保育士さんや、保護者の安心につながるかと認識している。貸し出すという点も含めて、検討していきたい。

Q 今定例会で、ゼロカーボンシティ宣言を表明とあるが、目標やゴールが分かりづらい。目に見える図表にし、表現してはどうか。

A 石川総務部長 目標達成のため、具体的な取組内容を令和6年度末までに策定する。方針が固まり次第、見える化も含め、皆様方に分かりやすく示したい。
その他
・保育士、介護士の人材確保について
・施設の活用について
・今夏の猛暑を踏まえて

一般質問



岩城 晶 巳 議員

- 1 防災について
- 2 子どもたちの安心・安全について
- 3 高校生等医療給付費について

Q 総合防災訓練は年に1回各地区持ち回りでいいのか。各地区9年に1回では人材も入れ替わってしまうのではないか。

A 高倉総務課長 毎年地域を変えて実施するが、今回のように複数地区が合同で行うことも考えられる。

Q 滑川市に自主防災組織はどの程度設立されているのか。

A 高倉総務課長 ほとんどが町内会単位で結成されており、令和5年9月現在、115の自主防災組織が結成され、組織率は81%である。

Q 防災士の資格取得には費用がかかるが、助成はあるか。

A 高倉総務課長 本人負担は受験料と登録料で8千円だが、市の防災士連絡協議会へ加入すれば市が全額助成している。また研修の受講料1万円は県が負担し、自己負担なしで資格取得ができる。

Q コロナ対応が緩和され、子どもたちには学校の遊具を使って体力の増進を図ってもらいたい。遊具に幾つか使用禁止と書いてあるがいつ頃からか。

A 椎名教育総務課長 各学校において遊具の安全点検を行っており、

劣化や塗装の剥がれや、ジャングルジムは高すぎることから安全面を含め使用禁止にしている。

Q 使えないのならば、修理するか撤去するか、はっきり方針を示さねばならないのではないか。

A 椎名教育総務課長 安全面を配慮して改善できるもの、修理できるもの、撤去が必要なものを各学校と協議していきたい。

Q 滑川市内の園児送迎バスの園児置き去り防止安全装置の設置状況は。

A 牧田子ども課長 市内保育所等送迎用バスを運行している7施設のうち6施設が完了、1施設は設置依頼済みで近く完了見込みである。

Q 高校生の医療費無料化について3月定例会で、家に閉じ籠って卒業しても家の中にいる、そのような子こそ精神的なことで病院に行かねばならない、そういう子たちも対象にしてはどうかと質問したが、その後の市の対応は。

A 牧田子ども課長 進学していない子も対象とする方向で、今年度中の条例改正に向け準備をしている。

一般質問



1 JR城端線・氷見線の再構築検討会の報道について
32 「ゼロカーボンシティ宣言」について
学校給食費の無償化、負担軽減と
就学援助について

古沢利之 議員

一般質問



1 滑川市立小中学校通学区区域審議会に
おける諮問・答申について
2 公共施設の管理運営について

大浦豊貴 議員

Q JR城端線・氷見線のあい風の風とやま鉄道への移管が報道されている。情報を伝えられていたのか。
A 相沢生活環境課長 県の交通政策局長が市長を訪問し、あいの風とやま鉄道が再構築検討会に参画するとされ了承した。
Q 報道では大筋合意とあるがそうした話はなかったか。
A 水野市長 あいの風がテーブルに着くことは了承したが、中身の説明は受けていない。
Q 両線の利便性の向上などは、本来JR西日本が目指すべきものではないか。
A 相沢生活環境課長 JRが運営に関する第一義的な責任を持つものと考えている。一方、適当な事業主体を期待する気持ちもわかる。
Q 報道では両線に係る経費は沿線市以外には求めないとするが、今後の対応についてどう考えるか。
A 水野市長 再構築検討会の議論を見守るしかない状況だ。注視しながら言うときは言うつもりだ。
Q ゼロカーボンシティ宣言をし、区域施策編の検討をするが、地域特性を踏まえることが必要とされる。本市の地域特性とは何か。

A 高森企画政策課長 本市の部門別CO₂排出量で産業部門が69%で全国平均を大きく上回っていること、また再生可能エネルギー導入のポテンシャルの資源が太陽光発電と水力発電ということである。
Q 再生可能エネルギーの導入ポテンシャルも今後検討されるのか。
A 高森企画政策課長 今後、計画策定の中で検討していきたい。
Q 全国で学校給食費の無償化に取り組む自治体が491自治体になっている。無償化への見解は。
A 椎名教育総務課長 全国で実施自治体が増えていると聞いている。引き続き国に要望していきたい。
Q 困窮する世帯は就学援助で支援しているとしてきた。必要な児童・生徒すべてに対応できるか。
A 椎名教育総務課長 給食費は全額を就学援助の対象にしている。周知に努めたい。
Q 内閣府の全国調査では貧困世帯の就学援助の利用は58・6%で、ある研究者は就学援助の限界を超える。無償化への見解を問う。
A 椎名教育総務課長 他市町と連携して国へ要望し続けたい。

Q 本年7月と8月に滑川市立小中学校通学区区域審議会が開催され、通学区区域の設定について諮問された。理由は、「新たな宅地造成や道路整備及び道路事情の変化もあり、子供を持つ保護者から、通学区の変更を求める声が幾度も上がってきている。令和4年には、市議会への陳情、市教育委員会へも正式に要望された。」というものである。審議結果として、これまでの指定校変更許可基準中、「教育上やむを得ない場合」に「通学に特別な配慮が必要な場合を含む」を追記し、通学区区域の弾力を図られたいとされた。特別な配慮の点について市教育委員会の解釈を問う。
A 上田教育委員会事務局長 個々に様々な事情があると考えられるが、学校まで通学することに体力面で不安が感じられる場合など、個々の事情を教育委員会に相談いただいた上で、指定校変更などの対応をしていきたいと考えている。

Q 審議会の担う役割は、様々な施策に関連するものであり、意思形成に重要である。情報公開制度の運用も含め、審議の状況を明らかにすることは、開かれた市政の推進に資するものであると考える。これまで幾度として声が上がる課題に対し、情報公開を行ってこなかった。また、今後も公開することはないと聞くが、見解を問う。
A 上田教育委員会事務局長 各委員それぞれの立場で忌憚のない意見を出し、審議していただいている。そのため、個人や地域が特定される内容の意見が多く、個人が特定され、不利益を被ることがないよう配慮が必要なこととから、公開をしていないこととしている。
Q ほたるいかミュージアムに併設された道の駅において、2事業所がテナント契約を交わすことによる目的を問う。
A 永田水産観光課長 来館者に対する購買の場の提供、市内の特産品を扱うことによる地元経済の活性化等があげられる。観光客の満足度の向上や、特産品による市のPRに寄与していただいている。
Q 現在、テナント契約を交わす2事業所でなければその目的は達成できないのか。
A 永田水産観光課長 ほかの業者だとできないかといわれると、できないということもないかと思う。

一般質問



1 滑川市内小中学校における熱中症対策について

2 滑川市内小中学校におけるESD活動について

谷崎 潤 一 議員

Q 滑川市内小中学校における熱中症対策と周知は怎么样了なっているか。

A 椎名教育総務課長 各学校では、児童・生徒の安全を最優先に考え、暑さ指数を小まめに確認し、一定の数値を超えた場合は校内放送で熱中症への対策を取るよう知らせ、炎天下の活動を控えるなど対策をすすめている。保護者に対しては、配布物に、家庭でも取り組むことのできる対策を記載したり、熱中症警戒アラートが発表された場合などは、あんしんメールで注意喚起を促している。

Q 夏季冬季に限り登下校時の荷物の軽減はできないのか。

A 椎名教育総務課長 夏季冬季に限らず、各学校では、自宅に持ち帰る必要のない教科書や荷物については学校に置いていくことを推奨している。荷物の軽減については、改めて学校と相談する。

Q 夏休み期間中の部活動における対策について伺う。

A 椎名教育総務課長 開始前と終了後の健康観察を徹底することや、練習時間の短縮、日陰で練習をするなどの練習メニューの変更、15分間に一度水分を取る、帰宅前に

クールダウンするなどの対策を行い、暑さ指数が一定の数値になった場合は中止するなどしている。

Q 今後、小中学校の熱中症対策をどのように進めていくのか。

A 椎名教育総務課長 今後も厳しい暑さが続くことから、各学校では、引き続き子供たちの安全を最優先に進めていく。また、運動会の熱中症対策は大変な課題であり、各小中学校の校長会でも、9月開催をもう少し時期を変更してはどうかという議論もされている。

Q 市内小中学校においてユネスコスクール加盟を目標としたESD活動を検討できないか。

A 椎名教育総務課長 ESDについては、SDGsの実現に向けた取組と切り離すことはできないと考えている。総合的な学習の時間や科学の時間を利用してSDGsの実現に向けて主体的な取り組みや学習を行っている。ユネスコスクールへの加盟は世界規模での様々な活動や交流が期待できるが、児童生徒が行っている身近なところから、自分たちにできるSDGs実現に向けた取組をまずは継続していききたい。

総務文教消防委員会行政視察

(7月3～5日)

◆石川県能美市

(中高生向けデジタル手帳「フォアサイトアプリ」を使った教育DX)

能美市では、今年度試行的に一部の小中学校で、連絡帳・生活ノートタブレットを使った「フォアサイトアプリ」に置き換え、児童・生徒たちとのコミュニケーションや学習効果の向上を図りつつ、教員の業務効率の改善を行っている。

◆福井県大野市

(DXの取組について)

大野市では、業務再構築プロジェクトチームを組織し、内閣府の事業を通じてマッチングした民間企業の協力のもと、業務改善・効率化を進め、行政内部の業務再構築の取組を行っている。

◆福井県勝山市

(勝山市のESD活動について)

勝山市では、ESD(持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習や教育活動)を取り入れた環境教育を行い、次世代を担う人材

の育成を図っている。

◆石川県加賀市

(DXの取組について)

加賀市では、IoTなど最先端の技術を活用できる人材による市内企業の生産性や技術開発力の強化に取り組みながら、実証フィールドとして産業が集積した活力あるまちを目指している。

人材育成と産業創出の拠点として、市民病院であった建物を改修した施設内にある「加賀市イノベーションセンター」を現地視察した。



＜加賀市イノベーションセンター＞

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネルで、生放送及び録画放送を実施しております。今回の市議会定例会の本会議の放送は、12月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。また、録画放送はYouTubeでも配信しております。

産業厚生建設委員会行政視察

(7月3～5日)

◆滋賀県米原市

〔乗り合いタクシー「まいちゃん号」について〕

平成16年より、完全予約制のタクシーが運行されている。

あらかじめ定められた運行区域(停留所)、運行時刻が設定されていて、予約があった時に運行される「デマンド型」の輸送サービスであり、その後、地域の拡大、停留所の新設等を行ってきた。

近年では、インターネット予約やPayPay決済、市民等割引パスポートの導入等、新たなサービスを行っている。

◆大阪府貝塚市

〔公営住宅におけるPFIについて〕

老朽化した市営団地対策と周辺地域の再生を兼ねたPFIを実施し、平成30年に契約を締結した「貝塚まちづくりパートナーズ」は、老朽化した木造市営住宅に住む方を対象に民間住宅への移転をあっせんするほか、市営住宅跡地を利用して、重度身体障害者向けのグループホームの整備やコンビニエンスストアの誘致なども行っている。

◆大阪府摂津市

〔犯罪被害者支援について〕

平成19年犯罪被害者等支援施策検討委員会を設置。その提言に沿って平成20年に「窓口の設置、見舞金の支給、日常生活の支援、家賃等の補助、就業の支援」

の5項目を盛り込んだ、先進的な条例と要綱を制定した。

その後、ニーズに合わせ条例改正を行っている。



＜大阪府摂津市＞

◆福井県鯖江市

〔さばえものづくりマッチング事業について〕

令和4年4月から、ものづくりの分野に強く、また豊富なマッチング実績をもつリンクカース株式会社と連携し、市内企業の新たなビジネスパートナーの掘り起こしを支援している。

姉妹都市親善交流・

北海道豊頃町訪問

(9月22～24日)

豊頃町は十勝発祥の地と言われており、本市からも多くの方々が移住した縁から、昭和59年に姉妹都市協定を締結いたしました。少年親善使節団や産業、市議会の相互交流などを通して、お互いの絆を大切にしていきます。

◆互産互生と報徳のおしえ

消費者と生産者を繋ぎ、地産地消の基となるのが産地直売所ですが、「とよこる物産直売所」や「ココロコテラス(まちなか活性化拠点施設)」ではそれを一歩進め『互産互消』『互産互生』プロジェクトとして推進しています。地産地消を軸に互いのエリアに無いモノ・コトを消費し合い、生かし合う取組です。

「える夢館」では按田町長、菅原副町長、中川教育長に出迎えていただきました。歴史の森では開拓から始まる豊頃町の歴史を知ることができ、この地で自ら先頭に立ち、農民の独立と村づくりに取り組んだ二宮

尊親(二宮尊徳の孫)の『報徳のおしえ』を学ぶことができました。豊頃町の礎として、現在も小中学校で『報徳のおしえ』を学ぶ授業が行われており、報徳が縁で福島県相馬市と姉妹都市協定、静岡県掛川市と互産互生協定を結び、ヒトとモノの交流を広げ、地域経済の活性化につながっていることです。

◆『海と大地の祭典』

とよこる産業まつり

海と大地の恵み豊かな豊頃町を存分に堪能できる『とよこる産業まつり』は、豊頃の産業を集大成し、互産互生を具現化するものです。牛乳での乾杯から始まり、豊頃町産の食材が詰まった豊頃スープや相馬市の物産販売、秋鮭のつかみ取りや利きじゃが芋などイベントが盛りだくさんでした。また会場では地域おこし協力隊と地元中学校がコラボした「カレーを通して地元を学ぶ食育プロジェクト」の『豊頃最強カレー』が初披露されており、生き生きとした表情で販売を手伝う中学生たちの姿が印象的でした。



＜按田町長より、豊頃町の今夏の状況について＞

◆訪問を終えて
豊頃町は、その人口は本市の約10分の1、面積は約10倍となるまちです。規模は異なりますが、新しい観光資源を模索し、関係人口や交流人口増を目指す具体的な取組や教育などに参考とすべきものが多くあります。今回、実際に豊頃町を訪問して得られた多くの貴重な経験や視点、出会った方々とのご縁を大切に、今後、両市町の新たな関係構築や各種事業・施策に寄与すべく、提言等に生かしてまいります。



＜まちなか活性化拠点施設「ココロコテラス」にて＞



＜茂岩山自然公園キャンプ場にて＞

陳情・意見書提出要請・要望書

件名及び提出者

処理結果

①陳情（2件）

- 1 陳情書 全議員へ参考配布
片原 力三
- 2 過労死裁判に至るまでの当局対応の検証を求める陳情 採択
稲垣 源造、金森 実、中島 勲

②意見書提出要請（1件）

- ・ 「女性差別撤廃条約」選択議定書の批准を求める意見書 議会運営委員会一致
開田 晃江（議員提出議案第4号へ）

③要望書（1件）

- ・ 地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望 全議員へ参考配布
公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会令和五年度定時総会
公益社団法人滑川市シルバー人材センター

議決結果

議案番号	議 案 内 容 等	委員会	採決結果
議案第41号	令和5年度滑川市一般会計補正予算(第4号)	総産	原案可決
議案第42号	令和5年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第43号	令和5年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第44号	滑川市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第45号	滑川市ほたるいか観光施設条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第46号	令和4年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第47号	令和4年度滑川市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第48号	令和4年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第49号	令和4年度滑川市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第50号	令和4年度滑川市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第51号	令和4年度滑川市水道事業会計決算認定について	決特	原案認定
議案第52号	令和4年度滑川市下水道事業会計決算認定について	決特	原案認定
議案第53号	令和4年度滑川市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	決特	原案可決
議案第54号	令和4年度滑川市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	決特	原案可決
議案第55号	市道の路線認定について	産	原案可決
議案第56号	滑川市固定資産評価審査委員会の委員の選任について		原案同意
議案第57号	滑川市教育委員会の委員の任命について		原案同意
議員提出議案第4号	「女性差別撤廃条約」選択議定書の批准を求める意見書		原案可決
陳情第2号	過労死裁判に至るまでの当局対応の検証を求める陳情	総	採択

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会、決特：決算特別委員会

賛否一覧表

9月定例会の議案等は全員賛成だったため、賛否一覧表は掲載してありません。

12月定例会が下記の日程で開催されます

日	時間	摘 要
12月4日(月)	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
11日(月)	10時	代表、一般質問
12日(火)	10時	一般質問
13日(水)	10時	総務文教消防委員会
14日(木)	10時	産業厚生建設委員会
18日(月)	11時	委員長報告、質疑、討論、採決



【議会報編集委員】
岩城晶巳委員長
高川正樹副委員長
安達貞隆委員
水橋真治委員
大浦豊貴委員
竹原正人委員
原 明委員

議会報編集委員会から
この号がこのメンバーでの最後の議会だよりとなります。2年間ありがとうございました。
電話 475-2120